

マイクロモビリティ推進協議会 における安全対策

2025.3

これまでの協議会の安全対策(1)

01 違反に対する より厳しいペナルティ制度を新設

飲酒運転など重大違反へのアカウント停止処置の継続に加え、**車両放置・信号無視など含む全ての違反に対してペナルティを新設**。

02 アプリ登録時の安全対策の強化

利用前の**年齢確認書類提出の義務付け**。
交通安全ルールテストへの全問連続正解を必須化。



03 歩道走行モードに関する取り組み

車道の左側の走行を原則とする旨の周知徹底。
完全停車時のみモードの切り替え可能。



04 Luupではオリジナルデザインの 折りたたみ可能ヘルメットを制作

ヘルメット着用の啓蒙活動として、
**被りたくなるようなスタイリッシュな
デザインの折りたたみ
ヘルメットを制作**。



05 新ルール周知に向けた取り組み

- 警察・自治体・企業と連携し、
施行日初日・翌日に安全講習会・イベント実施
- ご利用ガイドブックの作成・配布
- [特設サイト](#)やオウンドメディアを利用した発信



これまでの協議会の安全対策(2)

交通安全講習会の継続実施

- ・ 2021年4月以降、全国で**100**回以上の交通安全講習会を実施
- ・ 広く啓発するため、警察や自治体・地元の方々と共同で開催



マイクロモビリティ推進協議会が 東京都と連携協定を締結

電動キックボードの安全な利用の推進



東京都

電動キックボードの交通事故 分析に関する調査研究

交通事故総合分析センター及び東京海上との連
携



東京海上ホールディングス

安全対策の強化(1)

01 飲酒対策

(1) 飲酒撲滅キャンペーンの企画・実施

ロゴや標語などを作成の上、飲食店や酒販店等とも連携して、飲酒運転の危険度を知らせるとともに、飲酒運転に対する社会の厳しい認識を理解させるためのキャンペーンを企画・実施していく。

(2) アプリ内での表示の工夫

飲酒運転の危険度や事故を起こしたら結果どうなるか、文字だけでなく写真やイラストを用いて伝える工夫をこらしていく。(事故の惨状や、加害者の末路、加害者への刑罰など)

(3) データを活用した対策

繁華街で深夜帯に利用が多い貸し出しポート、利用回数が高い日時などのデータを特定の上、貸し出しポート付近における警備員による声かけや貸し出しポートの一時利用停止などを実施する。

(4) 警察等との連携

深夜帯に利用が多い貸し出しポートや走行ルート情報を警察や自治体に提供し、連携して利用者への啓発や取締を実施していく。

安全対策の強化(2)

02 ヘルメット着用促進対策

(1) 着用インセンティブ

ヘルメット着用者と非着用者で利用料金に差をつけるなど、着用した方がお得にサービスを利用できる仕組みを検討し、実施していく。

(2) ヘルメット着用キャンペーンの企画・実施

ヘルメットメーカー等とも連携して、ロゴや標語などを作成のうえヘルメットをかぶることの効果や重要性を伝えるなど、ヘルメットを着用してもらえるようなキャンペーンを企画・実施していく。

(3) 貸し出し形態の実証

自治体等と連携して、有/無人のヘルメット貸し出し拠点を設け、告知や管理方法を含め、シェアリングサービスにおけるヘルメットの貸し出しについて検証を行う。

(4) 販売

ヘルメットメーカーとも連携して、多様なヘルメットの販売のほか、自治体や販売店とも協力しながら販売の促進を図る。